

建物ガイドツアー有

1959 国立西洋美術館

1910～20年代にかけて、川崎造船所社長松方幸次郎が集めた印象派の絵画およびロタンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション(松方コレクション)が戦後日仏友好のためにフランスから返還され、その収蔵のために国立西洋美術館は建設されました。



当時としては画期的な天井光の取り入れ方をした窓と斬新な階段。



一本いっぽん木目の異なる柱と、繰り返されるパースペクティブ。



建物の中心となる19世紀ホール。視線を移動させながら空間が楽しめるスロープ。

Tour Taito's buildings with Taito-kun!

台東くんといっしょに建物探訪

師弟対決!? それとも……

上野の山には美術館や公共建築物が多くあります。その中で国立西洋美術館と東京文化会館は向かい合って建てられています。この二つの建物にまつわるちょっとしたエピソードを紹介します。

国立西洋美術館はル・コルビュジエの「無限成長美術館」の構想のもと設計され、展示空間が螺旋(らせん)を描きながら展開してゆくの、美術作品が増えても必要に応じて外側へ増築して展示スペースを確保できる仕組みになっています(現在のところ、この計画はそのまま実行されてはいません)。また、人間の背丈を基準に設計されている点や、直線で構成された空間の光の取り入れ方、空間をどのように体感できるかという点などは、見逃せないところです。国立西洋美術館は20世紀建築としての価値も高く、フランス政府とル・コルビュジエ財団によって、世界各地のル・コルビュジエの建築作品とともに、世界遺産への登録を促す計画も推進されています。また、2007(平成19)年には国の重要文化財(建造物)に指定されています。

▶国立西洋美術館 HP: <http://www.nmwa.go.jp/jp/events/talkandtour.html> (イベント、美術トーク/建築ツアー) ▶国立西洋美術館を世界遺産に: <http://www.city.taito.lg.jp/sekaisan/>



僕も一緒に歩くといいよ!

いまですと展示ばかり見たよ……

ちょっとだけわかると、近代建築も奥が深い!? Take a closer look: modern architecture's deep!

上野の国立西洋美術館はル・コルビュジエというフランスの有名な建築家が設計したということをご存じでしょうか?

ル・コルビュジエは、それまで基本とされてきた歴史的な様式形式や装飾の多い建築に対して、機能性や合理性を重視する、20世紀初めに始まったモダニズム建築の最大の提唱者で、「近代建築の三大巨匠」のうちの一人(他の二人はフランク・ロイド・ライト、ミース・ファン・デル・ローエ)とも言われています。

JR上野駅公園口を出て上野公園に入ると右手に国立西洋美術館、左手にはひさしの張り出した特徴的なデザインの東京文化会館があります。この建物はル・コルビュジエに学んだ前川國男が設計した建築です。師匠と弟子の建物が向かい合って建てられているのです。



そんなにすごい建築物だったなんて知らなかった!



◀近代建築は正面の構造が特徴的。国立西洋美術館の高床式の構造はそのまま東京文化会館の構造にも採用されています。

国立西洋美術館内「CAFÉ すいれん」脇の構造(左)と東京文化会館の脇(右)の不均等に並んだ縦の構造は同じ様式です。

©東京文化会館

1961 東京文化会館



東京文化会館はオペラやバレエもできる本格的な音楽ホールをとの要望に応じて作られた、日本で最初の本格的な音楽ホールです。前川國男は国立西洋美術館に引き続いて東京文化会館の建築も手がけました。



高さや長さの基準は西洋式の国立西洋美術館より、もっと日本人に親しみやすい基準を採用。

上2点: ©東京文化会館

外観上は国立西洋美術館の延長線であまりながら独自の構造を持っており、天井の高いロビーが二層になっている点や、スロープの表現など、国立西洋美術館の基本構造からさらに改良が加えられています。

1975 東京都美術館



エスカレーターで地下に降りてホールに入ると、建物全体の基調となっているやわらかなヴォールト(かまぼこ天井)が重なっているのに気づきます。ピンクのやわらかな色調の石と打ち込みタイル工法による外壁の色彩のコントラストが印象的。



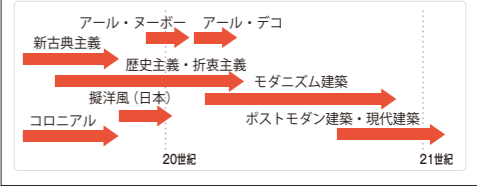
建物ガイドツアー有

▶東京都美術館 HP: <http://www.tobikan.jp/news/> (建築ガイドツアー)

上野の近代建築物件



建築物は時代の反映
明治になると本格的に西洋の建築方法が輸入され、西洋風のしっかりとした石造りの建築物が数多く作られました。1923(大正12)年の関東大震災、1945(昭和20)年の東京大空襲などの被災により、耐震設計や防火設計などの建築基準などが設けられ、日本の建築文化は大きく変わります。耐震と防火は日本では特に重要ですね! 建築は時代を反映します。それぞれの時代に流行った様式はその時代の息吹とともに人々の生活を反映しているのです!



▶P2～5、協力:各美術館・博物館、前川建築設計事務所 写真:サイキカツミ(株式会社ドゥ・アーバン)